

自動車整備科・一級自動車工学科		2025年		授業計画							
時期	2年C巡	単元	実習	教科名	電気5 (AC,CVT)						
科目	自動車整備	教科書等 持参品	2級ガソリンジーゼル自動車 シャシ編		発行日	2024年4月1日					
総時限	32時限		日産3級整備テキスト 電装		教科担当	吉田					
必要時限	32時限	サーキットテスト				石田					
指導教員の実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当 											
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法等を指導する。											
教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)											
①自動車の暖房装置の構造、機能を理解する。 ②エアコンディショナ装置の構造、機能及び冷凍サイクルを理解する。 ③ゲージマニホールドを用いて、エアコン (冷凍サイクル) の機能点検、判定が出来る。 ④冷媒ガス回収機を用い、冷媒ガスの回収、充填作業が出来る。 ⑤CVTの構造、制御を理解する。											
授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)											
①自動車の暖房装置の構造、機能が理解出来るようになる。 ②ブロアファンモータ回路の回路図を読み取り、点検、故障診断の判定が出来るようになる。 ③エアコンディショナ装置の原理 (冷凍サイクル) が理解出来るようになる。 ④エアコンディショナ装置の構造、機能が理解出来るようになる。 ⑤ゲージマニホールドを使用し、エアコン (冷凍サイクル) の機能点検、判定が出来るようになる。 ⑥冷媒ガス回収機の使用方法を理解し、冷媒ガスの回収、充填作業が出来るようになる。 ⑦CVTの構想、制御が理解出来るようになる。											
学習評価 (期末試験での主な試験項目)											
1) 履修試験での学習評価 実技試験 70点、筆記試験 30点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。											
2) 出題試験項目											
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 実技試験</td> <td style="width: 50%;">2. 筆記試験</td> </tr> <tr> <td>①ブロアファンモータの故障原因探求。</td> <td>①エアコンの構造、機能。</td> </tr> <tr> <td>②エアコンの機能点検。</td> <td>②電気回路計算問題。</td> </tr> </table>						1. 実技試験	2. 筆記試験	①ブロアファンモータの故障原因探求。	①エアコンの構造、機能。	②エアコンの機能点検。	②電気回路計算問題。
1. 実技試験	2. 筆記試験										
①ブロアファンモータの故障原因探求。	①エアコンの構造、機能。										
②エアコンの機能点検。	②電気回路計算問題。										
準備学習											
事前に次回の授業内容範囲を予習して、テキストを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 テキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。											

